

令和5年度病床機能報告結果

東京都保健医療局医療政策部

目次

機能別病床数の状況① 3

機能別病床数の状況② 4

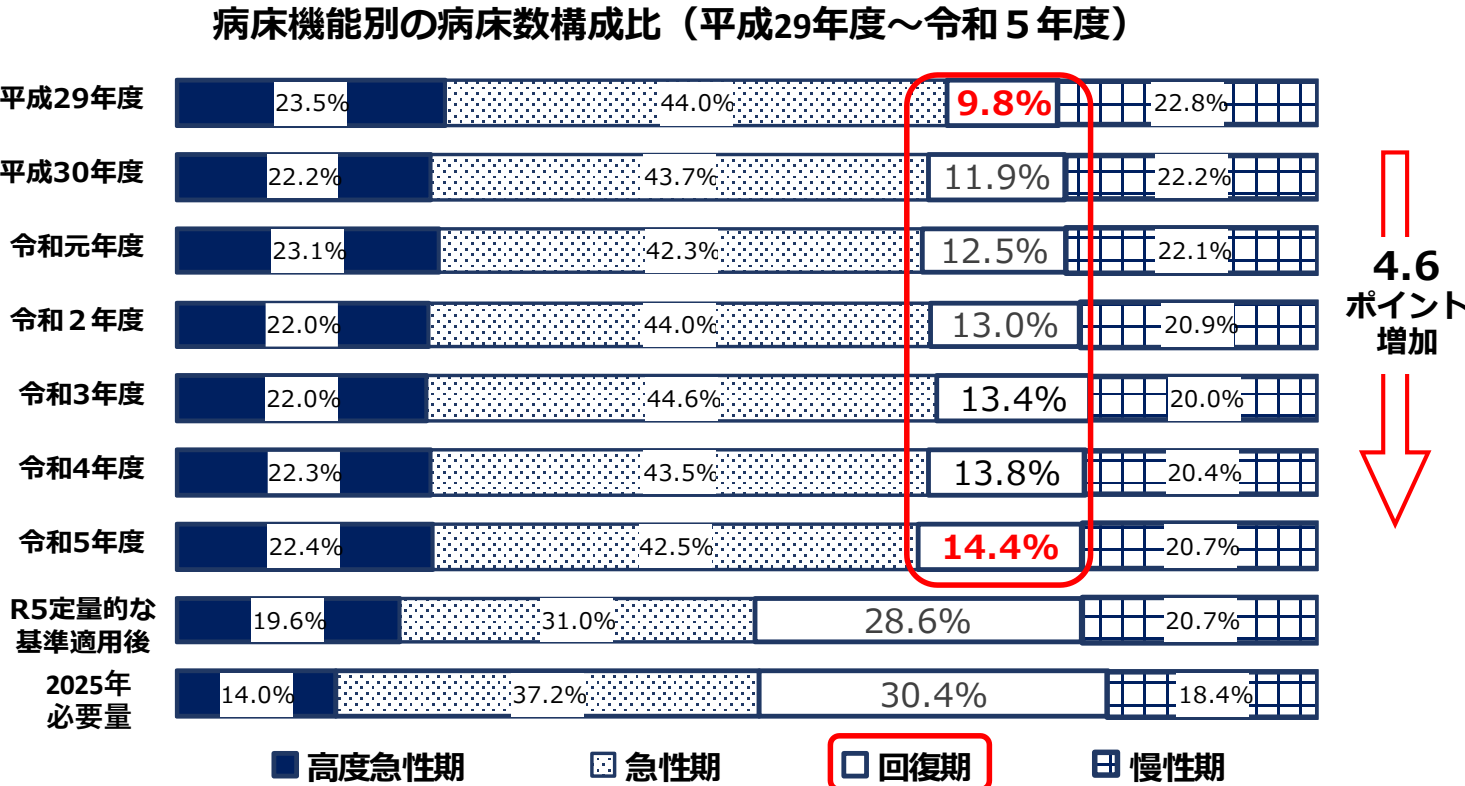
機能別病床数の状況③（圏域別） 5

【参考】 都内の都内の機能別の病床利用率・平均在院日数の推移 . . 6

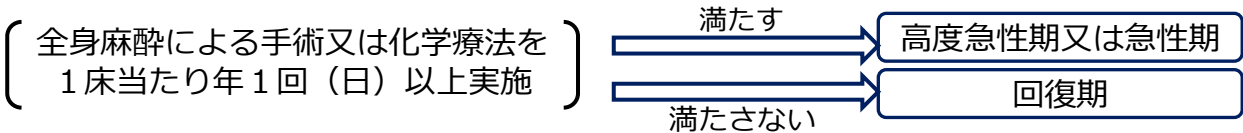
【参考】 機能別の病床利用率・平均在院日数の状況 7

機能別病床数の状況①

- ・「2025年の病床の必要量」と「病床機能報告」のかい離は、「回復期」で大
- ・その「回復期」においても、平成29年度に比べ、かい離は着実に縮小



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

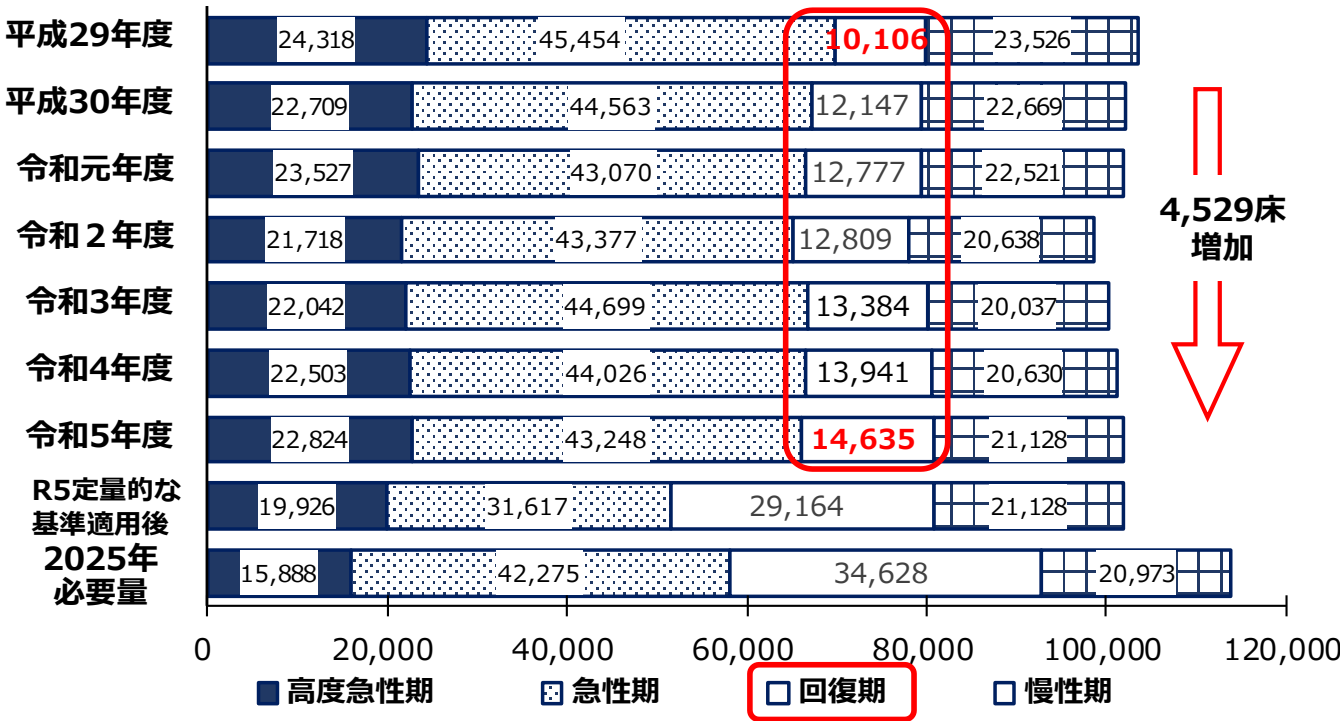


（出所）病床機能報告より作成

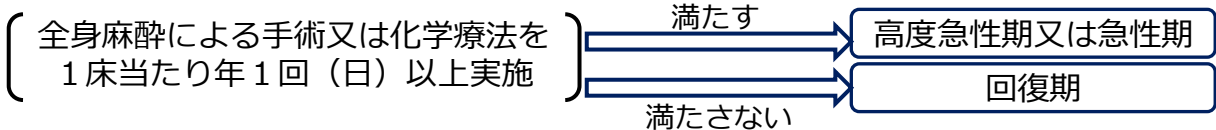
機能別病床数の状況②

- ・「2025年における病床の必要量」と「病床機能報告」のかい離は、「回復期」で大
- ・「回復期」病床は、構成比だけでなく、病床数（実数）でも、増加傾向

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）

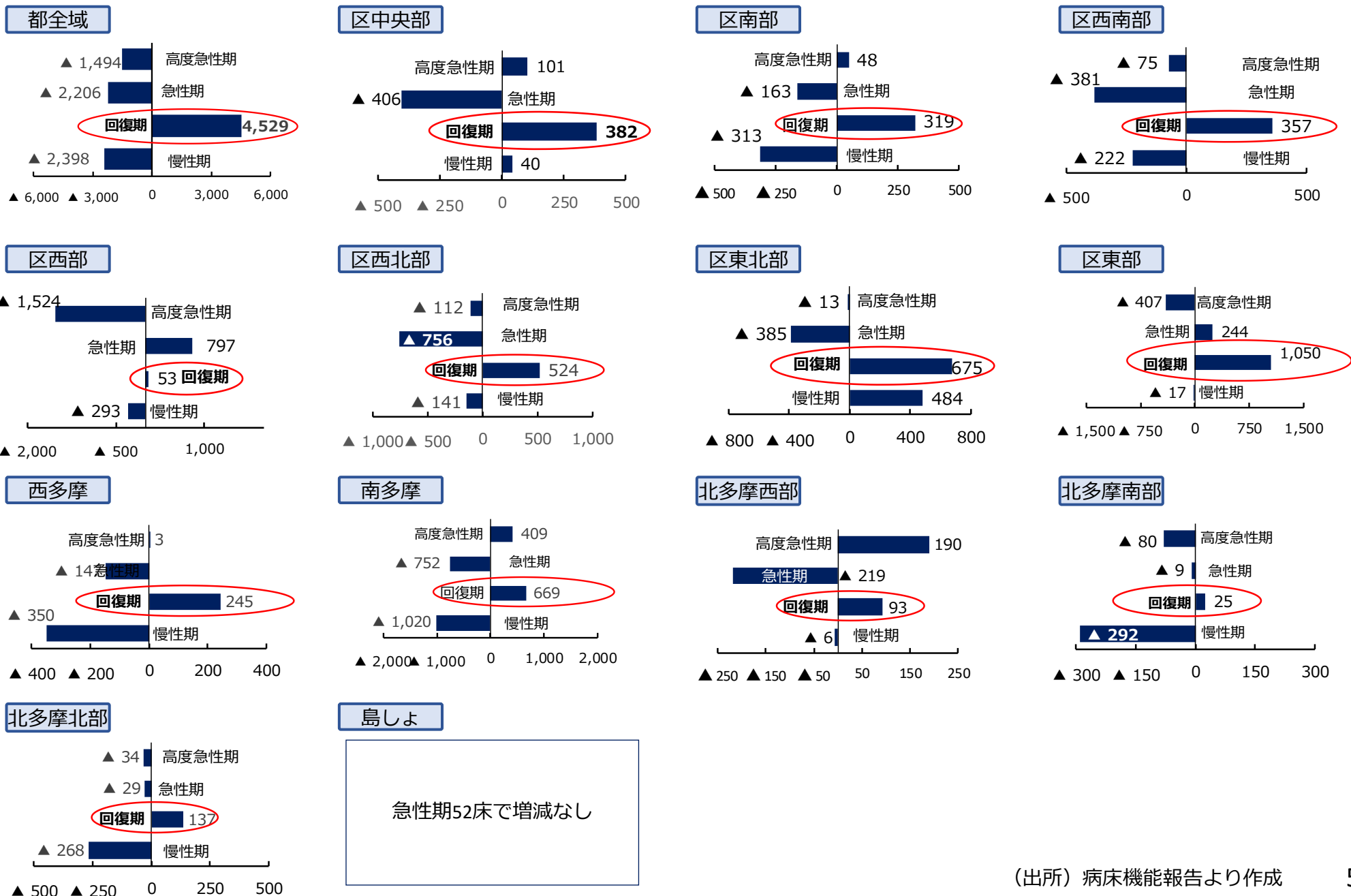


注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



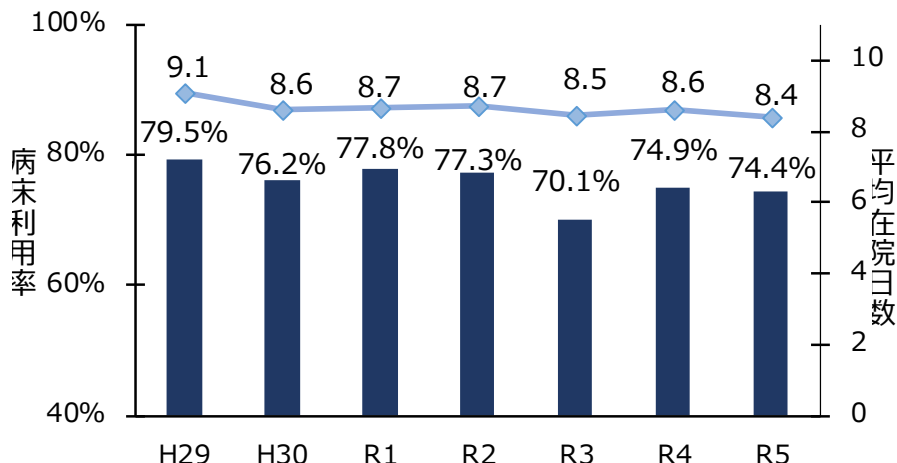
（出所）病床機能報告より作成

機能別病床数の状況③ (機能別病床数の増減：平成29年度報告⇒令和5年度報告)

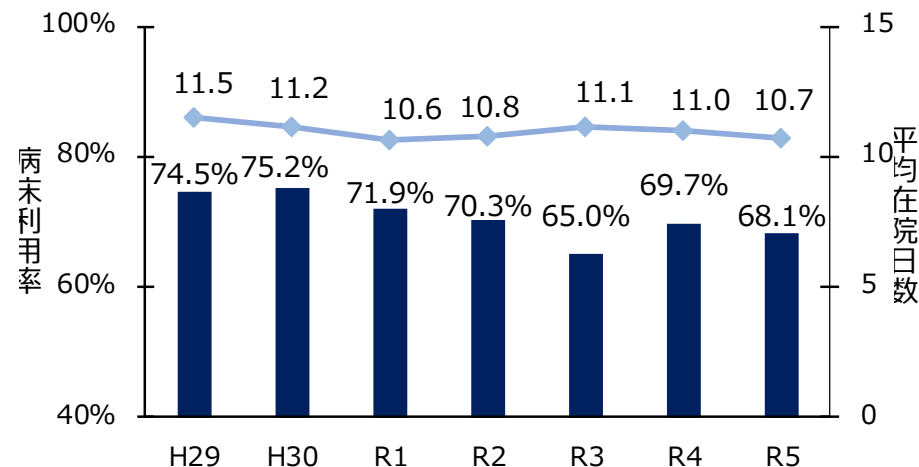


【参考】都内の機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

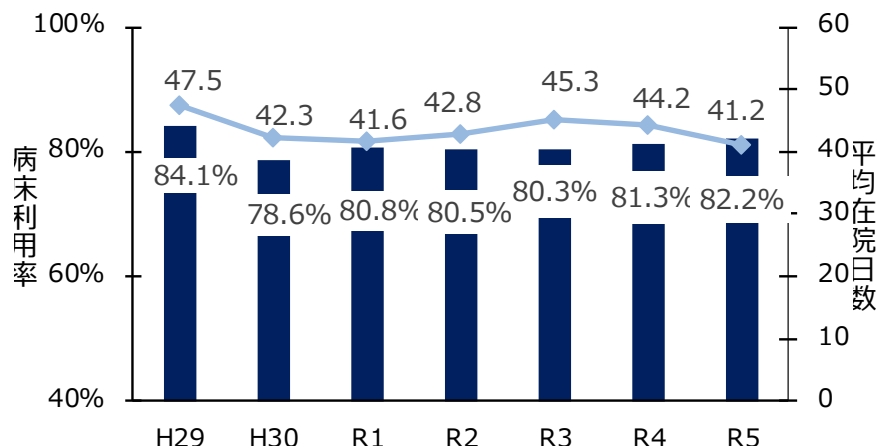
高度急性期



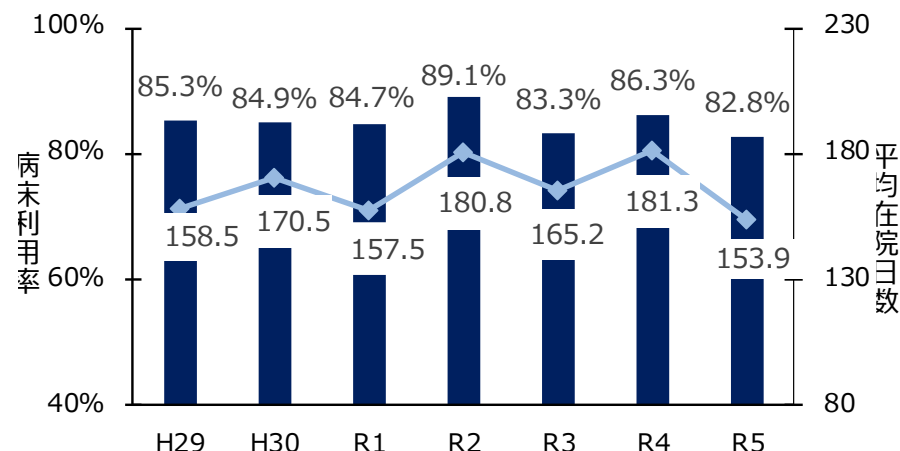
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【参考】機能別の病床利用率（当日退院患者含む。）・平均在院日数の状況

